



門ホ2
號5640
卷

新念圖書
昭和九年
三月廿日
小田壽吉氏
長男友太
新氏家贈

新念圖書

いホーへふららこた

中の幸をふ國をさうおぬ

はく國をさうおぬ

をぬれ八皇神乃さきそん

すて通をさうおぬ

きをりふ也。なその中始幸の

言しと神の代の上上ある

言と人の代乃末も末もま

傳へりふ。ちのちのものもま

のさうおぬもさうおぬ

もあふこの言魂の幸よあま

新念圖書

新念圖書

新念圖書

ふふふふふふふふふふふふふふふふ
ちの言はうーあへんてくれへちの言
まひろく考へあうくまきまきてたへる
乎あぐーのされると奉らあるま
月を海つ書つめえええええええええ
ふふふふふふふふふふふふふふふふ
とふふふふふふふふふふふふふふふ
たのいこほーさのあふふふふふふふ
いふー乎あぬふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふふ
あーへのるのふ百録わ八百限まで
乎も思たふははははははははははは
ふふふふ

藤原の字万伎がりふ
明和二のころ四月

附てり

○言の上中下よいあええ
吃放ふやのたぐひ又言の
トふ波と和の如く比と伊為
の如く倍と延惠の如く保を
乎放の如く唱へ或は治自頭
受ふぞのかちまて古の書
ての書ふすべては遠くあ
ふーくあんありける。くは
近き時和字正濫抄ゆきてる
言ゆも書つたるありまこと
ふそのふさせるさぬあてく
あう古の書らひろくお料へ
比下る。後の世人の私ことひ
はうていへるもの敷ふあは
うらふふふも多かり。あつらふ
ふ不あひけふまの少き。且
いま考あうふさつらひの多
うらふふふりてその方人は同
へは被抄はいまふふふふの案
あふふふを或人あひて世に
ふらあふふふふふふふふふ
ありふた其言の身す所ゆ
ふふふふふふふふふふふ
か三つ口つあり。此度考

考れ。言ハすべク八百八十三
 言。悉故よりを奉り。又古書
 假字の又えさりと彼是通ハ
 訓て初るるハそのよしを
 死つててもふか古考る
 う。をばさる一つ二つハさる
 も河り。あつたれぞわの故
 う。とあるせ。あをいふる
 をあつらん。や。且ひろくも
 ひはくれやと丸れらるも
 べ。うねら。後。同も考
 も。つべ。すべ。あまがら
 世は私のまよ引れん事を
 ありたり

○和名鈔ハ夾纏をわくけち
 萱草とくもんさうおぞの字
 音とを出せれ皇朝の言ハ
 何うせんがやうハ。又郡の名
 何の名のあつひは字考の
 何のやと何れや。六もや
 皇朝の言あつて音のひき
 合字と借て書るものあり。
 いの郡ハ英多和名安伊多伊多
 波和名波の如し。故ハ是らハ
 假字ハせりつ

○訓の如く安て字音あらはり
 ぬせり

○えに 縁 ○らに 蘭

○てふ 蝶 ○せち 切

○まい 貴

○くゑ 法華經とほくゑ
経中云故あり

○ぐあん ト 源氏

○へんぐゑ 変化

古今集物名コ

○ぶをに 紫苑
和名同

○ばせをば 芭蕉
和名同

○さうひ 薔薇

○きちかう 桔梗

○けにこー 牽牛子

○くたふ 木丹

○はくまかう 百和香

和名鈔コ

ついでして用ひる古例あり

○評三卷に寄託本の假字を列せしも、八景、雲、霞、地、の、茶、を、皆、濁音に落着の假字、月、ハ、俱、於、此、五、ハ、一、言、の、條、ユ、ク、ハ、一、清、濁、音、訓、と、マ、ウ、テ、リ

○草木鳥獸各の字ハ、おぼつうなきとあれど、ふげくく、字、鏡、和、名、等、より、ぬ、字、ハ、かりの、物、ヤ、一、と、判、別、し、ぶ、う、う、と、て、吾、朝、の、古、例、あ、れ、ハ、あ、り

○すべて言の字ハ、五十の音より、た、ら、な、假、字、と、その、ま、よ、り、り、て、用、れ、ら、る、物、ハ、唯、も、五、十、の、音、の、み、を、先、の、り、ら、ん、や、と、喉、音、舌、音、牙、音、齒、音、唇、音、ら、言、の、お、と、れ、る、始、と、の、み、ひ、て、五、十、音、の、万、づ、の、言、ハ、用、の、道、と、安、一、く、い、ひ、ぬ、せ、る、み、な、一、天、竺、の、言、と、書、一、物、も、見、え、ば、さ、ら、世、ハ、傳、く、ぬ、あ、ら、一、か、る、と、荷、田、大、人、東方、其、稻、荷、神、社、ふ、い、ら、く、古、傳、の、あ、と、も、て、天、下、の、古、書、と、廣、く、ま、り、り、言、と、源、く、考、ね、て、吾、か、後、縣、と、小、傳、ふ、ざ、れ、後、ハ、縣、と、い、ろ、く、考、ね、く

ふまひふと加へて悟えて

書を記せり、これハ五言の假字、
も、よ、り、り、て、横、韻、ハ、體、用、令、助、平、言、等、世、ハ、傳、く、ぬ、さ、ら、く、の、道、り、ら、る、と、あ、ら、一、清、音、濁、音、の、通、ひ、本、濁、假、濁、各、の、ま、ま、

く、た、く、の、傳、り、や、と、せ、も、か、く、一、
舉、て、知、る、と、の、あ、ら、ぬ、見、よ、い、後、
○或人吾友友永字万枝、同假字、つ、ひ、て、ふ、もの、い、せ、し、も、上、つ、代、ハ、な、ら、ん、ま、か、ら、ん、文、字、活、り、て、後、音、韻、四、聲、よ、り、り、又、ハ、懸、墨、よ、り、り、て、こ、せ、ら、り、と、空、

と、ら、あ、ら、べ、い、づ、れ、お、も、う、ま、の、と、の、ま、と、あ、ら、音、固、の、り、や、ら、ら、か、ら、べ、一、や、字、万、枝、各、吾、縣、ま、の、り、ら、ん、か、く、天、竺、お、も、假、字、と、お、お、ら、ん、く、一、と、言、の、み、あ、り、

後、小、日、月、鳥、獸、子、万、の、お、の、形、と、書、て、その、音、の、あ、ら、一、や、せ、し、
ふ、り、その、形、ハ、音、り、り、と、お、り、お、い、
い、也、後、の、世、の、あ、ら、一、と、あ、ら、

○評五古事記、又、字、比、地、迹、上、音、須、比、智、
迹、去、音、
か、く、は、せ、り、是、字、須、の、三、字、美、
あ、ら、の、み、と、他、ハ、皆、口、一、假、字、ま、り、
音、ハ、字、よ、り、り、さ、ら、り、あ、ら、べ、一、は、

付

かくて皇朝の言のりといふは
 いづれいふかぞの假字を用ひけ
 る他の國の音韻四聲を悉
 曇ふもよめるはなれば文字ハ
 後よそへるをのふしてせや
 ハ言の意より出づればその言を
 りよちよ音韻即口の肉よこ
 くるをりいへまかしくけれ
 ぶと億計王弘計王を申す
 ハ御兄弟よわたりてあも同
 じみりよふおつれば億計
 弘計を交へ用せあふいづれ御兄
 いづれ御弟ももつべういづ
 それのみよもつればよ代り
 いひあ言の上を下りいひ
 くるこそ冠辭よ多しれい
 るふやの言一つたかきり
 か一もろふ文字をてつぬま
 のり。吾皇の言の多うを
 かみ風の伊勢やいひけがすみ
 かのいよひみかどよをみの
 やをいひいひかぞよわつ
 の子があやいひけ一言よい
 をわをいひけ一用のそのあふ

くまの後にいひて字と
 書くるやもころりふり
 且東國の男女のおのづから
 ひ出でて困風を多く万葉集
 二載一といひえをわの言
 のけちえよふふふ一文字
 ようていれ一り知べ
 古の東人の文字の音韻を知
 ずのふあふりやえゆるを
 ずして女にふれあふれ古と
 あひはるべ一かくのあつ
 代の言ハおのづから一り
 なるのあや一きさまでよあん
 わるその平一き言のまをら
 一侍一假字あれば必ず古
 書ころりてあふれべきものあり
 假字の遠へる即言の
 るをり
 ○評云まむむ先もよひいへは
 ハ一を古例たすへかあふりをかむ
 りけあふりけむりやえいひ
 二武無をふやもむもらみ麻馬
 ばやもまむもむむくふいび
 一ふのふ一ひふせもは
 いり言き言とわぬ人かあふ
 かむりやええいひすて

詔 續紀宣命

式 延喜式 祝 式祝詞

万 万葉集

新万 新撰万葉集

字 新撰字鏡

和 和名鈔

此外の書名ハ全ク奉

○古板大幸之古言梯を以て
其係開板以尚頭書者
本文の下よ小書する人
ころころ

袖珍古言梯

○安部 一言

安 阿、婀、鞅、
音也 古事紀

日本紀 万葉集 假初下日

二言

阿 波 穀也 固阿
粟 阿は

阿 淡 阿は 國也

阿 波 又 安房 和名 阿ハ
あは 水上の也

阿 拜 阿わ 漆草之
あわ 字鏡 固

阿 沫 泡 阿わ
あわ 魚也 固阿
あわ 地 固阿

阿 藍 阿ち 魚也 固阿
あち 地 固阿

阿 味 阿ち 色之
あち 固阿

阿 青 阿と 若狹郷之
あつ 固阿

阿 桑 阿ひ 逢之又相合會
あひ 固阿

あへ 養之國筑前郷之整
養之波倍と有り
あへ ちやかるあり
あへ 阿阿敷

小月

三言

あは 古本風俗哥
阿流之

あは 貝之阿阿波
疾阿和日 又鮑

あは 木之固阿波
岐阿和日

あは 木之固阿豆
知字阿和日

あは 粟生
之固

あは 粟田
阿阿

あは 豆之
阿阿

あは 草之
阿阿

あは 草之阿
阿之為

あは 蓋草
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あへ 養之國筑前郷之整
養之波倍と有り
あへ ちやかるあり
あへ 阿阿敷

小月

三言

あは 古本風俗哥
阿流之

あは 貝之阿阿波
疾阿和日 又鮑

あは 木之固阿波
岐阿和日

あは 木之固阿豆
知字阿和日

あは 粟生
之固

あは 粟田
阿阿

あは 豆之
阿阿

あは 草之
阿阿

あは 草之阿
阿之為

あは 蓋草
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あは 阿之為
阿之為

あづま
あへぬ 阿比 不堪 阿比

あひだ 阿比 間 阿比 あわ 阿比

あは 阿比 惶 阿比

あ 阿比 急 阿比 周章 阿比 あたへ 阿比 代 阿比

あ 阿比 預 阿比 與 阿比

あ 阿比 價 阿比 あは 阿比

あ 阿比 合 阿比 あ 阿比

あ 阿比 吾妻 阿比 あ 阿比

あ 阿比 近江 阿比 あ 阿比

あ 阿比 會見 阿比 あ 阿比

あ 阿比 淡路 阿比 あ 阿比

あ 阿比 會津 阿比 あ 阿比

あ 阿比 秋田 阿比 あ 阿比

あ 阿比 秋鹿 阿比 あ 阿比

あ 阿比 英多 阿比 あ 阿比

あ 阿比 愛知 阿比 あ 阿比

あ 阿比 碧海 阿比 あ 阿比

あ 阿比 赤生 阿比 あ 阿比

あ 阿比 平安 阿比 あ 阿比

あ 阿比 沫雪 阿比 あ 阿比

あ 阿比 姉妹の夫 阿比 あ 阿比

あ 阿比 兄弟の妻 阿比 あ 阿比

あ 阿比 相老と相 阿比 あ 阿比

あ 阿比 清音 阿比 あ 阿比

あ 阿比 阿支志 阿比 あ 阿比

あ 阿比 阿 阿比 あ 阿比

あ 阿比 阿 阿比 あ 阿比

あ 阿比 阿 阿比 あ 阿比

阿 足奈倍團 跋蹇 阿むび

又那用久 阿 蝨蛉 あはから

魚之阿 阿 抗齒魚 阿ま

波我良 阿 千歳薬

紫陽花 あさかほ 阿さぢふ

唱 阿ーがひ 阿斯訶備 阿

をのり 海草之阿 阿乎乃刺 阿

わふほ 食塩之阿 阿和之保 白鹽

あぢはひ 阿ぢらふ 阿ぢらふ 阿地波比

味 あへもの 阿へもの 阿反

瘰癧 阿らたへ 鹿考之考の訓 多部より

阿 あむづら 射架 あとひえ

無豆 知 射架 阿

乎比 衣 竹刀 阿きかひ

交易之阿 阿支奈木 商估 阿奈

造作具之阿 阿奈々比 麻柱 あ

らそひ 阿らそふ 阿良蕪波受

阿やふい 阿阿也 危

あつかひ 阿つかふ 傷熱之阿熱可 比阿豆加布

唱 阿から 阿加良閉

あるひ 阿 或 阿ま

さへ 阿 剩 あゆかは

相摸郡之阿 阿由加波 愛甲 阿さひ

安房郡又駿河遠 江郷阿尤比奈 朝夷

あ

あさふつ 越前郷阿佐布豆 朝津

五言六言七言

あまのがは 天河之河の訓加部より

銀漢 阿かゑむば 蜻蛉之小而赤

あまがへる 虫之阿河未加用流 蛙

あーまつひ 虫之字足万豆比

あへづくり 阿河用豆久利〇註切肉

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あそぶ 阿河那而

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

あまのよさづ 波世の又裕

獸之類以
奴又惠奴
犬
いか
介虫之草
伊加和日

鳥賊
いね
古伊那賀良
厚藤子稻を

借
稲
いね
寐之起伊称
日又伊奴○古

苛
い
小草生刺
李和伊良

波
いは
大石之古
紀伊波
磐
又岩

いそ
水除の石之古
万伊燕厚日
磯
いけ

池
い
通波之
和以比
械

いへ
人の居処之古
伊幣紀万日
家
宅
い

ほ
日上下伊
保字和日
廬
菴
い
か
夏五

古伊本
配万日
いち
物を賣野
吉伊知和日
市
い
い

いた
本と拵
古伊多紀日
飯
い
き
和字

食之配伊比屋炊
を伊比加之久
伊系
伊等
痛
又最大
甚

いろ
伊呂
色
いき
固伊岐
又於岐

息
いえ
痛
愈

い光
伊米
夢
評云夢を
古い光を

のみりゆ光
を云ハ後之
いで
飛語之
廻異提
厭

い
以都認
何時
い

い
以都認
何時
い

い
以都認
何時
い

い
以都認
何時
い

い
以都認
何時
い

い
以都認
何時
い

い
以都認
何時
い

い
以都認
何時
い

い
以都認
何時
い

い
以都認
何時
い

い
以都認
何時
い

い
以都認
何時
い

幾 イキ 國後郡生業を以久波有

生 イキ 國伊加 往行

や イヨ 國伊 彌 伊

伊豫 イセ 國世 伊勢

いが 國加 伊賀

三言

いろは 母國伊呂波 家母

いろせ 兄國伊呂勢 又伊呂

家兄 いろせ 弟國 伊呂梯 家

弟 いせ 父の兄才の子 國以 古 從

父兄弟 いせ 伊麻思

命 いのち 國伊能知

いみ 伊名 諱

息 いひき 國伊 比支

躬 いぐち 肩割 國 鬼

缺 いひぼ 國伊 比得

る 飛鳥射 國 以 都 由 七 いたち

鼯鼠 いひき 小蟹

贄貝 いりか 大魚 國伊 留加

鯨 いり 小魚 國伊 和之 和日

鰯 いり 出雲 國上 記伊 具此 魚名

いさり 捕魚 國 伊 射里 魚 いけす

中 以介須 註池 中 鱒 竹 養 魚 藥 い ち ひ

草 和 以 知 此 菌 い ち ひ

注 今 編 菌 為 行 編 い ち ひ

菌 い ち ひ

い

い

木之團伊知 赤檮又檮 いた

木之固伊 折傷木 木蓮子

草之冠 香葉以奴衣 い

草之團蓬葉訓伊致 覆盆子和覆盆子訓以知古 覆盆子

海菜之利 海髮

海底石之固伊 以支須 海髮

久理團伊 砂 いはほ

細石之團伊 佐古團伊 砂 いはほ

高大石之團伊 波保團伊 巖 いはや

波夜 窟 いほり 巷居之團伊 伊保里

盧 又菴 いがき 神籬之團伊 垣 齋

籬 いづみ 出水 泉 いら

か 屋棟之團伊 伊良加 薨 いかり 船

具團伊 加利 碇 いかた 加太 筏

小日標 いがた 團伊加太 註鑄鐵形也

鎔 いひら 鞍馬具之團伊 伊俣良 杏

葉 いばゆ いばえ 馬鳴之團伊 波由 いばふ

中ハミ 嘶 いくさ 戦之團伊 艦 艘と以久

佐乃不祢 軍 いぞむ 争之團伊 伊村美

挑 いかる 至伊 怒 又悲 恨

いはひ 團伊 怡被毗 齋

又祝 評云いはひ 忌より出 いる 浪波如

團伊乃首 祈 又禱 いかり

團伊箇 巖 又重 いや 團伊 也之

校團 賤 又甲 いまけ 吉伊 麻 須團伊

在 いづみ 數之 固足石哥 伊都入 團五穀

以都乃乃太 漆屋毛乃 五 いやま 刀末 万伊

團 眼 いやひ いやへる 比 固伊等 比 固足

獸 豆伊 いづれ 豆伊 何

いかふ 國以柯 如何

いづく 固伊豆久固日又 いぬる 伊都知古本神樂

何處 いつら 何路 固伊豆 痛 固痛

至 固伊豆 痛 固痛 いた 固痛

出 固痛 いた 固痛

未 固痛 痛 固痛 いた 固痛

いぬる 固痛 往去 固痛 いよ

彌 固痛 いさち 固痛 勇

哭 固痛 いさむ 固痛 いさむ

いさむ 固痛 急 固痛 いさむ

いさむ 固痛 急 固痛 いさむ

いさむ 固痛 急 固痛 いさむ

いさむ 固痛 急 固痛 いさむ

ろ 頭城之國加之良乃安加又

雲脂 伊呂古 常いらこむも

いづみ 國之國 以都美 和泉 い

因幡 因幡 いは

石見 石見 いづも

出雲 出雲 いでは 國之

引佐 引佐 いまひ

印南 印南

揖保 揖保 い

石糸 石糸 いそ

石生 石生 いそ

稲直 稲直 いそ

竿井 竿井 いくれ 越後

伊曾為 伊曾為 越後

勇禮 久礼 いひの 安藝

入農 農古ハ叔の振名 い 乃乃又用ハ後飛

かの 讃岐 生野 和伊加乃 いむ

み 筑前 生見 和伊無義 いくは

育波 淡路

四言

いかづち 和伊奈豆万 雷

いさづま 又五言出 電

いさみ 神号 いと

うや 女子後生 妹 和伊毛辛登 以かる

が 鳥 班鳩 和伊柯曼 以の

るが 丹波郡 何鹿 和伊加苗加 い

ば 鳥 鳩 和伊倍 い

ひや 鳥 鳩 和伊以 い

らび 虫 蛭 和伊良虫 いひ

ら 虫 赤蟻 和伊比阿里 いな

ち 馬鳴 嘶 和伊奈々久 いけに

へ 祭の具 犠牲 和伊計仁倍 いけ

ぢ 取 虜 和伊生 いろくづ 魚

都 和伊呂古 鱗 和伊呂古 魚

之 和伊之 鯨 和伊之 魚

之 和伊之 鯉 和伊之 魚

秦龜 和伊之 いたぢり 和伊之 魚

虎杖 和伊之 いぬあで 和伊之 魚

草 和伊之 いへにれ 和伊之 鬼葵 和伊之 魚

い 草 いきぐさ 和伊之 景天 和伊之 い

を 草 すき 和伊之 商陸 和伊之 い

も 草 がら 和伊之 藪 和伊之 い

いはぐみ 草之困伊波 久美又伊波

古 卷柏 頭上之困 伊多太伎

豆 頂 又戴 山頂 之困

以太 巔 久廠 伊波

岩崩 柱下石之困 都美似之 又

以之 礎 困以之乃 知註出

須惠 鐘乳 市 舍

脩中國 肆 困以 太 都岐

英賀郡 鐘乳 市 舍

之困伊 肆 困以 太 都岐

知久良 肆 困以 太 都岐

註今之戲 平題箭 いたづ

射箭也 平題箭 いたづ

き 拾遺哥集 いりもの

肉ノ膽之困 膺 いそぎ

以利毛乃 膺 いそぎ

細伊蘇思 號紀 文徳実録 功勳

いふ 困伊介 之故 古いや

む 困管て豆久利 以刀奈半や訓

いたる 困伊多波斯 困伊等保旨跡

づら 空之困伊 徒 いつは

る 困伊豆 偽又倭 いふせ

いふ 勢羨 鬱悒 いふか

いざ 不審くは流りや詩振ら 出つ訝の氣や成り地

誘 いざよひ 困伊射奈 比困望日

猶豫 いふか 困伊射奈 比困望日

森々 いそが 困伊射奈 比困望日

鬧 いへぐも 困伊射奈 比困望日

いは いさか 困伊射奈 比困望日

許又加 許 困伊射奈 比困望日

い 困伊射奈 比困望日

志 億 イソカ 伊佐丸可介 聊

いさく 伊丸 卒爾 イ

きほひ 息競 勢 いふす

き 薩广郡 揖宿 い

ろ 遠江 邑代

五言六言七言

いらつひ 家女 助

菟比 伊良豆賣 郎姬 又郎女 いや

兄弟 從父兄弟の子 再從 伊岐須太万

窮鬼 いさきたま

幼 いぼむあり 虫

蝗螂 いさ

ごまろ 虫 蚱蜢 い

取 冠 勇魚

いす 冠 須久波斯

いふ 貝 文蛤

いは 木 豆之

羊躑躅 いらくさ

羊桃 いへつ

羊 草 いんぐさり

石薺 いふ

連翹 いさ

電 いさ

雷光 伊奈

伊伎騰保流

伊伎騰保流

伊伎騰保流

又伊支 憤 又伊支 土呂志 いちじろく 固伊 知之

灼然 久 いちはや 固一 速比

巖捷 ○註建天 木置石其 上發擗以投蔽也 いはき 和以之 波之岐

櫓 固伊良那那久 固日室和昔 在伊良那那那久ハ舞 いらふ

字書詩ハ 頌之急 固伊良那那久 固日室和昔 在伊良那那那久ハ舞 いのり 大和 固伊須

能箇弥和伊 曾乃加美 石上 いすか

は 伊勢 五十鈴川 部鈴ハ 五十鈴川 五十八 部鈴ハ

す部川ハ 加部 いつきのみや 豆岐

乃羨 齋宮 いくはせ

射菴具之和伊久波 土古路又阿無豆知 射朶 い

もろや 妻の姉妹之固 伊毛之字刀免

姨 いぬかひほ 星之固 以奴加

比保之又 比古保之 牽牛 いぬのあ

まひ 犬吐之固以 奴乃大末比 犬咎 い

たは 木之固以多知波 之加美又保曾支

蔓椒 いねつきこまる 虫

固以祿豆 支古万呂 冬蝨 蝨 いふれ

世度里 不保通 縮

負鳥

○宇部一言

う 于、宇汗、紆、烏、有、雲、

鳥羽

二言

う 固宇廢固日以外不半麻 せりらハ皆宇と半ハ保

馬 固宇袁固固日以外不 以表ヤもハ後の移之

魚 虫之固宇 士望日 蜡 うん

木之固鳥米翻固一本半 梅 梅之ハハ宇と半ハ保

うり 蔓艸之圃宇利
吉本催馬樂日 瓜

草木之樹之うゆのまの云
べくひの圃宇惠圃日古

本風俗哥 殖 飯小
宇和流 飯小

補武紀隈怒推古紀伊比余惠豆也
あるハ宇を畧せるあり聖畿と伊比

余宇々々訓うえろう 飢又饑
ゆるふぞらへくひ

うす 著冠者之圃 髻華
宇受圃日

づ 水廻之圃 渦 圃珍
宇頭ふは 圃訓

子 氏之山城郡宇治小借
て書り圃讚岐ハ氏部

姓又氏 うち 山城
と宇治倍 郡之

初 捕魚竹器 釜
圃宇倍

へうは 圃宇同圃 上
圃又羽掃

圃圃圃宇倍 諾
又圃宇毎

三言

うさふか 童の髪と垂之 髻
圃和宇奈烏

髪 うはを 圃宇波乎又伊
万乃中宇刀

後夫 うさふ 頭後之圃宇
奈自圃日

項 うづら 鳥之圃宇
豆良圃日

うばらうまら 万宇万良圃常
陸郡茨城と宇

波良 荊又茨 ういほ 圃海
圃紀

岐 于之哀 潮 うらは 圃宇
知波 圃

扇 うまう 圃宇麻良圃于麻
師又于魔伊祢宇

磨佐圃あまのうま味もまて
万んるまもつちも心よらうふを云

可美 可伶 又旨 うけひ 圃
圃

誓約之祈之咒咀之圃宇
氣比又宇氣布圃圃日

多倍多々須都加佐 訴 うま 圃
圃

ひうたふ 詠声之圃宇 歌 う 圃
多比圃日

かび 圃宇 加夫
うらみうらみうらみうらみうらみ

浮 うつは 和半天河と木乃
宇豆保乃美豆

空 うまる うむ
万苗の約無
免苗も同

産生 うれい うれい
三代実
録憂礼

憂 憂
愁 うばい うばい
強て取
有

奪 うすい 上野郡
宇須比和

碓氷 うは 甲斐
宇波土

表門

四言

うはなり 国宇波那
理和和 後妻

うぐい 鳥之
古今物色和 須

鶯 うまかひ 馬飼
于麻柯比

典馬 和圍
人 うまくは 農
具

馬把 和圍
人 うまびし

馬覓 和圍
人 うすらい

薄氷 和圍
人 うはがひ

襜 衣の前之圍
宇波加比 うやまひ

うるは 和圍
人 美

るほい 和圍
人 潤 又
福

うさ 三代実録
失比

失 うづ 和圍
人 奈比 國宇豆乃

比 うろ 和圍
人 比 本神

移 和圍
人 うか 和圍
人 ち

は 打延
新五打蠅 うづ 和圍
人

氏又山城地名 和圍
人 高

豆麻佐又禹豆母利麻佐 和圍
人

ひづ 上総
宇苗比豆 濕津 和圍
人

ふの 日向
宇利布乃 瓜生野 和圍
人

え

たがひうがふ比不
倍通 疑

あひあひあひ倍通
ト白

五言至十一言

うまふ野采之圃字
未不々岐 牛

芳 うまきた草之圃字
未支太之

鱧腸草 うはね圃衣
上副

也字波 褊 うへのきぬ圃字
倍乃

於曾比 褊 うつは圃字
倍乃

岐奴 註著 褊 器 うづくま圃字
圃尾器と須惠

宇都波毛乃 器 うづくま圃字
宇都波毛乃

ろ 宇豆ハ圃禹豆麻仇圃宇豆乃
幣帛ふ圃云宇豆小月固今本

小字須受麻里圃と
ろハ誤字 蹲 うはら圃

つ 鞍馬具圃宇
波良具都和 蒺藜銜

うとのひ草之ひま圃石龍葛圃牛
乃比太比圃布加豆美圃日

びたひのうま圃字比太 戴
非能字麻

星馬 うかひ圃次圃のい圃ひ圃糸圃
圃字久比須乃以此

恒山 う圃
圃字久比須乃以此
祿又久佐支乃祿

うま圃ひ圃の圃つか圃さ圃
官名之圃字

加 雅樂寮 うたへ圃あ圃次圃
官名之圃字多倍多倍多

つかさ圃 官名之圃字多倍多倍多
々須都加佐又伊勢心刑

刑部省 評云
加倍々々々

美
野羅南屢柯佞

飲喫哉

○ 惠部 惠て圃え圃ひ圃ね圃ハ圃和行圃
出圃へ圃き圃と圃不圃ま圃心圃
こ圃ふ圃拳圃と圃り圃は圃行圃の圃え圃の圃効圃ハ圃也圃行圃
ふ圃一圃ふ圃こ圃ら圃り圃

一言

惠衛回隈穢會繪

音之 咲、餌、訓之 十六

二言

あぬ 獸之困惠 奴又以奴 犬 ぶぐ 菜類

あみ 草之困惠跡 又安万奈困

黄精 あみあむ

笑 評云困惠麻 比麻比の約美

酔 酒小あふなり 困惠比困字日

離 又彫 能登心之 困惠曾 越

蕪

三言

あやり 困惠刀利 註屠牛馬 肉取鷹雞餅之義也 殺

屠兒 あんのこ 屠の子 困猪

あふ 生及屠牛馬肉取賣者也云々 或説 今の惠多や云者ハ此惠刀利の物

あぐぼ 尾草と惠奴乃 古久枕や有

あふく 時類小見者之 困困惠久保 出 困

あぐり 氣息心呻吟 惠奈久 味之 困惠

あらしき 久 笑之 困惠 良惠良介

あや 困困樂又咲 悦 喧 字書喧者 大笑也

あくり 河波之 困惠久利 殖栗

四言六言

あみぐさ 草之困惠美久 佐又安麻奈 女

あぬのくさ 古久 草之困 惠奴乃

あみぐさ 古久 狗尾草

袁部 一言

あを 袁 遠乎呼弘鳥鳴

あを 鳩 怨越叫惋廻 音也

あを 男陽夫士丁雄尾小

少。緒。絃。麻。苧。峯。岑。岡。

丘。侵。矣。訓也。呼。啞。二字。一言。

和泉。困乎。

二言

をち 父の兄弟。困乎地。伯父 叔父。仲父。

をぢ 父の妹。困乎。老翁 叔母。

をば 父の妹。困乎。甥 叔母。

をひ 兄弟の子。困乎。甥 叔母。

をい 鳥。困乎。鴛鴦 志。困乎。

を愛 困乎。愛 困乎。水獸。困乎。獺 困乎。

を食 困乎。食 困乎。水獸。困乎。獺 困乎。

を了 偽。困乎。保乎。曾。村。里。の。乎。曾。ハ。今。云。宇。曾。之。惡。の。氣。を。す。ハ。俱。

を嘘 困乎。嘘 困乎。草。困乎。枝。困乎。萩 困乎。

をか 土。高。處。困乎。岡 又。丘 困乎。

の 工具。困乎。能。斧 困乎。とげ 困乎。麻。筍。困乎。遠。家。困乎。

とけ 及。水。器。困乎。計。桶 困乎。をさ 困乎。乎。

左長 機。具。困乎。圍。筵 困乎。居 困乎。

をり 困乎。折 困乎。とら 困乎。細。鳥。智。困乎。

遠 野。水。困乎。草。臺 困乎。

をこ 應。意。困乎。唯 困乎。とゑ 困乎。阿。波。困乎。

麻殖 困乎。をこ 困乎。于。古。と。こ。困乎。

三言

をよこ 困乎。遠。登。古。困乎。男 困乎。

をふや 困乎。不。刀。困乎。夫 又。智。困乎。

をくま 困乎。具。奈。童。男 困乎。をみ 困乎。

を 困乎。表。義。那。古。本。健。馬。困乎。女 困乎。

を 困乎。遠。無。奈。を。言。ハ。音。便。困乎。

をさく 少女之固遠登責

の假字ハ 少女又幼女

先 長女の意

雄 長子

媒鳥 をさく

踊 又躍

蛇 又倍義又久知奈波

免 長耳小獸

鱧魚 魚之

魚 之註以所貫魚也

木 草之

尾花 尾花

をが 雅古

をか 假字不用

犯 又侵

治 又修

教 阿奈

愛 情ハ

終 國之

をさ 駿河

他田 佐多

小内 信濃

妻 二言小出

をさ 正

をさ 長無

をさ 屈伸

をさ 取出

をさ 取出

蚊 蠖 をうら 木之圃乎 加豆良

楓 をーかは 柔皮之圃 乎之加波 韋

をさく 長々之圃乎 佐乎佐毛 專

とあけび 雞廬 雄

詰 とのく 懼之圃乎乃々 久又和奈々久

悟 をまつひ 圃乎登 前日

とや 上の 前年 を

りはへ 縣合 をら とふ 次ま

武藏郡圃 男衾 をら ころ

乎夫須万 をら 二言不在 五言至九言

をみ 草之圃乎 羨奈散

娘部志 とや 草之圃乎

刀乎 赤箭 をか 草

圃乎加 苻菴 をか 木

圃乎加豆々之 茵芋 を 木

又仁豆々之 憧 を

柄 とさ 官名之圃乎 佐

半箇都 治部省 をさ 然つ

加佐 くろ つ か 官名之圃乎 佐米

修理職 豆 久 箇 都 加 佐

○加部 一言

か 加 寄 架 嘉 迦 可 河

何 荷 珂 柯 舸 軻 訶 訶 歌

甘 間 箇 介 清音 賀 清濁

我 俄 蛾 娥 餓 鵝 雅 濁音

二言 か は 人 の 面 之 圃 可 保 圃 顔 面

を 加 保 波 世 又 保 豆 岐

顔 目万安比
かい 虫之固
加伊

刺 舟の具之固
かひ 加伊固
擢 虫之固
あ

い 海つ物之固
かい 加比固
貝 加比固
かひ 固
虫 加

比 蛟 山の固
あひ 加比固
峽 固

かひ 稍の猿之固
かひ 加比固
頰 あひ
あひ 固
食 器

之 匙 國之固
かひ 加比固
甲 加比固

斐 鳥獸之固
かひ 加比固
かひ 加比固
物と物と易之固

飼養 物と物と易之固
かひ 加比固
かひ 加比固
物と物と易之固

小借用 固
買 加比固
かは 固
固 加比固
波 固
川

又河 固
あハ 加比固
加波の固 加比固
波 固
皮

かへ 木之固
加同 固
栢 加比固
あへ 木の子
子之

倍 固
榎子 舟具之固
かち 加比固
木綿の固 加比固
木之

穀 固
あぢ 治固
穢 加比固
か 加比固

ぢ 金作之古訓加比固
治 固
伊毛治之固 加比固
云云均

一 固 鍛治條之俗云鍛治也也
見へから文字マリのみ固云云加
治の治ハ假
字ふて之
鍛人 加比固
かび 加比固

受 數

三言

かゑは 不具の人之
片羽の意 残廢

篤 評云うつが物候よかとの
をきよとせよ

あたゐ 固
加多為又 保加比固
乞兒

かうべ 固
宇倍 固
首 あハち
あハち 類

波知 固
波弁 固
肌 あひさ
あひさ 固
那固

肱 又肘
かひこ あの子之
あの子之 固
加比固

卵 あひこ
あひこ あの子之
あの子之 固
加比固

古又古 加比固
加比固 固
蠶 あハる
あハる 固
注

鷹 加比固
加比固 固
鶉 あハる
あハる 固
注

年色 加比固
加比固 固
鶉 あハる
あハる 固
注

蕪數 かよひ 可欲布
倍數 かよひ 古本神樂
通 かよひ 比圍加

葉 かよひ 比圍加
かのえ 十幹のこ 庚 かふ

ち 國又はこ 河内 かふ
甲賀 おは 勢

河曲 近江郡 のまふ 近江郡
蒲生 かきへ 飛騨 加支倍

高家 かきへ 淡路 加之乎
賀集 かは 肥後郡 加波志

合志 かきへ 筑前 比圍加
香推 かきへ 筑前 比圍加

生 かきへ 越前 比圍加 川合
四言

かみれつ 雷の落 加 於豆又加 加

霹靂 おぢ 加 刀利
檝師 かい 肩の下 加

衾 かは 虫 波無之
烏毛虫 あは 虫類 加

蝙蝠 あま 小魚 加
鮭 かき 固加 肥後 加

かき 又火影 又朝夕 の 日気 又 提 糸 か
かき 虫 の 日 又 提 糸 か

かき 常 皮 有 竹 の 借 加 波 多 計 苦

骨蓬 あ 比 路 加 注 船
舟 か 久 注 船
冠 か 尾 箭

土器 門方具之
か次びい 團録と加

須加比團鑑と
阿介賀須加比
かまづ巻 杖之

勢都 鹿杖 又横首杖
かぐ 團加

と 打穀具團
加良佐乎 連枷 かぐ

は 香農之團加愚破志
常云かうべー 馨

あくさふ 團可苦佐布 佐布
の約須みてかくは之

隠 かたらふ
あふらひ 團團

良 相語 團脇助
かたはら 加太

比 波良保 傍 かどをへかうえ

倍 固迦賀那 考 あふら

かみ 團可奈
悲 あふら

ぼ あは恨令あふん
必 かづ

らき 大和郡之固迦
葛城 豆良紀團團日

かいぐや 上野に之團
桂萱 加加也

あさどり 讀岐之團
笠居 加佐乎利

五言至八言

かほのあみ 川の神之團
河 加波乃加義

伯 あはひらこ
飛虫之團加 波比良古

蝶 又蛺
あたつぶり 虫之團

不利 蝸牛 又輪
かつをむ 加大豆

蠓 あつらふら
葛類之團加 波良布知

草 莢 かはやまぎ
木之團 加波夜

奈支團 水楊 かは絲

さ 草之團加 女青
あふと

あみ 團滴乎無之片男
あふと

づまわ 團鐵索井也
桔槔

かハごろも 皮衣之團加波古
路毛又加波岐奴

表 かぶら煮り 困曲乃鑿之加布良惠利

鈐 うくのあま 餅類之困形如結緒加久

乃阿 結果 うへりうつ 雜困

藝加倍 擲倒 かへりみ

利宇都 顧 かみづふさ

る 困可徹 里見 上總 あつをい

國之困加 姜豆不佐 堅魚煎

ろり 困鹽梅類之加 豆中以呂利

汁 賦役 なたけふし 可困

多自氣 奈志 忝又辱 かへりまをい

久りハ三言ハ在 賽 かはぢ

まどハ末部ニ在 木之困加波 賣子

さのき 知佐乃支 菊 あつらよ

木 かへらよもぎ 草 白蒿 の

困辛与毛支困 加波良与毛岐 良与毛岐

はたかみ 困之困加波 具

菜萁 からんあふぎ 草之困加

良須安 射干 かみれこ

布支 草之困加美於古 之苦矣

奈之奈又加万奈 木之困加波久 末豆良又久

かはぐまつら 比〇註半熟飯也 後餐

曾赤 由美 衛矛 あまかきさの

いひ 困加太加之支乃以 饋

幾部 一言

幾支 評云支宣命万葉字鏡等皆きの假

字之 伎岐吉記紀枳企

奇寄綺騎既棄巾鬼

祈祇機基忌者堵清音

藝疑擬宜義儀蟻 獨音

二言

きし 鳥七支義志 雉

次 因幾 疵又瑕 さいえ

消 さいは 因波團髮際 際

きつる 因兩訓之在鷹阿 寧

きはだ 木之團支 波太團日 黄蘗

きつる 因兩訓之在鷹阿 寧

練 さいあひ 乾肉之團 腊

きたひ さいあふ 鐵をさく之 針

きほひ さいあふ 因波 競

きはみ さいあむ 波義 極又究

きころえ さいこし 固岐許延 所

聞 さいらひ さいらふ 因岐羅見 聞

嫌又棄 さいのふ 乃敷 昨日

きのえ 十幹のこ 木の兄 甲

四言五言八言

きあむは 因支惠無波〇註 塘蛉小而黄也

胡黎 さいりくひ 伐杭之團 支利久比

杠 さいぬいた 常云きぬと 團伎奴以木

砧 さいまはり 浄之まはりハ 碎團浄麻波

利 さいのらげのみつ 木の心 の水

因水乃字豆保乃 羨豆又竹籬頭水 半天河

久部 一言

く 久玖九鳩句約君

苦空宮矩俱區衢孔

丘 清音 具愚寓隅遇

求郡虞供娛 濁音

二言

くは 木之固俱
破固固
桑 具農

之固久波
固固固
鋏 矩儒固和

葛 固金屑と古加祿乃
頃利次都也別

屑 固久比固日万十六
固久比固日万十六

杙 又抗
固俱伊固日爰由
固俱伊固日爰由

くえい 固石崩と伊波久殿固
以播區郷輸ハ岩くつ

崩 在延こ
るあり

三言

くもろ 固久毛韋
固雲居 雲 〇評云

くひ 固鳥
くひ 固鳥

水雞 固俱比
固俱比

烏羊 又慈
姑 固鳥

くらら 又磨
又於保自加

くまろ 大魚之固久
固良固固日

くつわら 水草之固
久和為

くつわら 固久比
是固固

くつわら 固久比
固久比

くつわら 固久比
固久比

くらわ 固久
良為

くらわ 固久
良為

くらわ 固久
良為

くらわ 固久
良為

くらわ 固久
良為

くらわ 固久
良為

くらわ 固久
良為

くらわ 固久
良為

くらわ 固久
良為

虫之類久豆 久豆保字之 蛸 蛸 蛸

か次 國俱機 運入箇須 楚散

計部 一言

計介氣家化邪奚

雞谿迦價替希啓閑

階戒該潔 清音 既慨

清濁 二音 夏解下牙旱偈宜

擬礙霓凱愷體澄 濁音

二言三言四言

けふ 固邪布 今日 けい 越前

筍飯 けぶりけぶり

煙 烟月 けづる 元

削 髪をけづる 介都苗 けづる

梳 けいひ けいひハ餅

けふた けいひ 燐 燐 燐

己部 一言

己許古胡枯姑枯

故居固孤庫巨渠去

茗舉虛據興高顧 清音

吳娛誤五吾悟語後

凝其基期虞御馭 濁音

二言

こひ 魚之固古 比固月 鯉 病足

こひ 人と戀 固古斐 固

戀 こひ 物を求 國を比

乞 こゑ 万許患 聲 こゑ

越 こゑ 肉身

肥

三言

こせひ 大牛之團糞 特牛

こずゑ 木未之團 梢 古須惠 こほれ

菜類之團 古保祿 温菘 古本催馬樂 こほり 許

保里 和 氷 和 こほり 已保利 箏 古

集物名 和 郡 和 こせぢ 刀知 箏

柱 和 こほり 團已波志 強 飯を古 伊比

強又怪 和 こふひ 團虚豫 今夜

四言

こぶらや こぶらや 團兄公又 叔肤 古

之字刀又女公又女 妹姊妹古之字刀米 こまらや

古本催馬樂 高麗人 古 こほ

古本字土 高麗人 古 こほ

ろぎ 虫之團古 蜻蛉 又蟋蟀

團以下蟋蟀をきき くはすむハ誤 こせのを

團古刀 絃 こはいひ 團古ハ 伊比

強飯 こせり 和利 許等

理又義 ころほひ 比こほ 比ハ辞

こみし 伊勢之團 漕代 古以之呂

五言六言

こまづり 團巴和豆久利 效

こころばへ 又志波不支 意こはハ團 こむ

らかへり 下巡の類 足病之利古無良加倍 利又加良須奈倍利

轉筋 このてがは 木之 古

乃三加 之波 兎手拍

九部 一言

さ尤 佐差 璣 磋 沙 婆

破紗散射作社者草

舍積柴霜清音 謝坐

座藏邪笑裝奢 濁音

二言

さは 八 澤 さは 古佐波

多 さを 舟具固佐 衰 固 日 攜 又竿

さえん さゆ 寒之 固 尤敵 互 さへ さ爽

へむさへふまの 副 又並 さへあり 固 尤倍 兼

三言

さげえ 具之 固 佐 榮螺子 さ

ひぢ 魚之 固 佐比治 劍 さ次え 類 盃

固佐須衣 〇註器 似斗 櫛木 爲之 さらい 具 農

固佐 良比 櫂 さはり 固佐 波利 障

固佐 久固 日 騷 さづけ 固佐 豆氣 授

さうえん さあゆ 固佐 延延 固 日 又 固 佐 加 磨 固 日

日さかふ 榮 さかい 固 日 境部

中坂合部 通へし 用 境 さあひさうふ

比中不 逆 さそい さそふ 固 佐 曾不

誘 さへき 氏 又 安藝 郡 固 佐 倍 支 佐

伯 さはた 佐 渡 郡 之 固 佐 波 太 雜 太

さはら 筑 前 郡 之 固 佐 波 良 早 良 さ

うま 下 總 郡 之 固 佐 守 万 相 馬 さは

い 駿 河 之 固 佐 波 比 澤 食

四言

さをあか 固 龍 鳴 子 加 固 日 牡 鹿

さいづるさうら 鳥 之 鳴 之 固 佐 比 豆 流 固 尤 反

豆苗 轉 さはやけ 菜 類 之 固 佐 波 夜 介

黄菜 さかづき 酒 罍 之 固 佐 加 都 支

盃又坏 さいだて困佐以多天 戲

射 さいづち工匠具困散伊都遲 終

榎 さひづゑ鋤鑿之困佐比都患 罇

さきほさきほはくさくさ 倍困禰波

幸又福 さもらひさもらひはひん さまよ

侍又伺候 さまよ

ひひまよふ 困佐麻欲 呻吟比野

次次らひ 困佐須良比野 須良反阿苗

伶征 ささかきささかき 困佐

遮 さいたま武藏郡困佐伊太末

崎玉 さいご氏又加賀飛驒

三枝 さいべ上野

伊倍 雀部

五言六言七言

さへのかみ道神之困佐倍乃加義 道

祖 さばへ冠群困五月 蠅と九魔陪

如五月蠅 さあつちさあつち

五味

松蘿 さくれ困佐

細石 さやつき困佐 せり高

觸鱗 さはわら困佐

澤闌

志部 一言

腹ハ延部又在

杜ハ表部又在

志部 一言

ひらふ古斯多布 幕之多比 ち

むらむら厚志自 縮又蟠 一

づか古本催馬樂 頭久 滴志 静

あづ古本催馬樂 頭久 沈志 志依波

あぶ古本催馬樂 頭久 滴志 志依波

あぶ古本催馬樂 頭久 滴志 志依波

次年極の畧拵之後 師志 十二

月年極の畧拵之後 師志 十二

粟年極の畧拵之後 師志 十二

四言年極の畧拵之後 師志 十二

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

三三

ひらふ古斯多布 幕之多比 ち

むらむら厚志自 縮又蟠 一

づか古本催馬樂 頭久 滴志 静

あづ古本催馬樂 頭久 沈志 志依波

あぶ古本催馬樂 頭久 滴志 志依波

あぶ古本催馬樂 頭久 滴志 志依波

次年極の畧拵之後 師志 十二

月年極の畧拵之後 師志 十二

粟年極の畧拵之後 師志 十二

四言年極の畧拵之後 師志 十二

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

あう夫の母 和支 姑

須部 一言

霍亂

こくやまひ病之利与利久

又注連病之利与利久

端出之繩

醢祭祀具之古尻久米

あび肉醬之厚肉比之

あも毛豆不佐

五言六言十三言

たがひ順比 順隨

敷榜志

白布又

嗽潮騒之

あは潮騒之

あは潮騒之

あは潮騒之

あは潮騒之

あは潮騒之

あは潮騒之

あは潮騒之

あは潮騒之

あは潮騒之

あは潮騒之

あは潮騒之

あは潮騒之

あは潮騒之

あは潮騒之

あは潮騒之

次須寸周主取素數

州秀珠殊輸酒葛清音

受授儒孺聚濁音

二言

筋須知 次須知 筋須知 次須知 筋須知

吸不 吸不 吸不 吸不 吸不

末古須惠 末古須惠 末古須惠 末古須惠 末古須惠

假髮假覆 假髮假覆 假髮假覆 假髮假覆 假髮假覆

周准万須惠 周准万須惠 周准万須惠 周准万須惠 周准万須惠

居信濃郡 居信濃郡 居信濃郡 居信濃郡 居信濃郡

三言

雀小鳥之固須 雀小鳥之固須 雀小鳥之固須 雀小鳥之固須 雀小鳥之固須

巢雨須 巢雨須 巢雨須 巢雨須 巢雨須

次次 次次 次次 次次 次次

次次 次次 次次 次次 次次

相撲評云住ハ 相撲評云住ハ 相撲評云住ハ 相撲評云住ハ 相撲評云住ハ

住評云住ハ 住評云住ハ 住評云住ハ 住評云住ハ 住評云住ハ

質序須 質序須 質序須 質序須 質序須

直又儉素 直又儉素 直又儉素 直又儉素 直又儉素

涼私足石哥 涼私足石哥 涼私足石哥 涼私足石哥 涼私足石哥

救須久比 救須久比 救須久比 救須久比 救須久比

澆古伊須 澆古伊須 澆古伊須 澆古伊須 澆古伊須

不覺又坐 不覺又坐 不覺又坐 不覺又坐 不覺又坐

周防國之和 周防國之和 周防國之和 周防國之和 周防國之和

菅生河内 菅生河内 菅生河内 菅生河内 菅生河内

四言

すさのを神号之百須佐 すさのを神号之百須佐 すさのを神号之百須佐 すさのを神号之百須佐 すさのを神号之百須佐

尾器之和須惠宇都波毛 乃又須惠毛乃字烹と須

惠加 陶 次み奈は 工匠具 須美

奈 繩墨 寸みのえ 津國 あり

波 住吉 えい吉 の古訓

五言八言

寸ひくづら 次ひくづら 蔓草之字 須比豆良

忍冬 次まひぐさ 須比豆良

旋復花 寸糸 草之字須 万比久佐

末遂 寸糸 万須惠 都比尔 職名之和須奈 伊毛乃万守之

少納言 いものまろ

世部

一言

世勢齊劑制西栖 細 清音 是 筮 噓 濁音

兄

曾部 一言

曾層曾贈蕪所沂 吉兒と世ヤリ又衣 中云マウキハ呪人ニ

祚且祖則宗諸罇 清音

鋤叙增憎俗賊茹序

存 濁音

二言

了は 岨 了は 了は 了は

添又傍 了れ 匡撫比國月國 穠倍國曾布

贈啖 了は 大隅郡之 狗曾於 了は 赤也 云

了は 了は 了は 了は 了は

了は 了は 了は 了は 了は

了は 了は 了は 了は 了は

了は 了は 了は 了は 了は

了は 了は 了は 了は 了は

了は 了は 了は 了は 了は

了ほき

飼牛馬體曾保
岐又曾布衣岐

歷草

そのふ

曾能不和月又曾乃
古本催馬樂義曾乃不

園圃

又苑園

了奈ふ

固禰

備

山田小倉
獸のおせ

ろかー小茅乃物之固山田曾
富騰をいへる津の名より持り

かは

講岐に
和曾加波

蕪甲

そこ

ひ

古比

涯

そびえ

通

聳

四言五言

ろこまひ

そくまそくま
そくま

圍傷
殘之曾

已奈

弊

そへくるま

和後
乗こ

波苗

副車

了ふ

のかみ

大和郡之和漆
上と曾不乃加

羨添下を曾
不乃之毛

多部一言

多哆丹他柁稻當

黨儻囊

清音
太陀駝

二音

娜

二言

あづ

鳥之固多
豆和月

鶴

たひ

字太比和固
本催馬樂門

鯛

又國
平魚

あへ

織物之固多
閑西處は

栲

たへ

固多
倍

妙

あへ

固安倍
日

堪

又任し敢も
不用

たえ

固多延又多
由竟宴時

古本催馬
樂門

絶

三言

たう光

和今呼老女
馬太字米

專

あ

ふる

字太
不雷

倒

和獸の死に斃せ
出ハカク新この

滔 **たい** 船尾之固多伊之平評

固吾足不得步成 當獲形是也 **船** **あづき**

和多都岐○註廣又 釜之固山多豆同 **釜** **たづ**

手著之便の言固鶴又多頭 告これつを濁る能之音便 **き**

あらい 手洗之和 多良比 **盥** **た**

を **あ** 山のさき多る平之固手 折の字を借て書り

あ 草木をさしけ 折之固多平理

手折 ○評云又折やたじき 通してもしへり

あ **あ** 又多和差 又多和差

和固多 **撓** **たひら** 固陀毘 和固多

和年 **平** **たまひ** 固倍土都父 又木万比

固多未比 **歐吐** **あ** **あ** 又多和差

固固 **賜** 又給 給 **あ**

固固 **給** **あ**

固多 **違** **た** **あ**

比不 **譬** 喻 假令をとやひし 倍通 **あ**

たづぬ 固多豆林固 足石哥同 **尋**

あ **あ** 固多廣毗又多具 倍固同松足石哥

多具 **比** 又類 属 **あ** **あ**

山の巖を云こ もせ祭 **た** **あ** 固之固多 太途波

丹波 **た** **あ** 固之固多 遅牽固同

但馬 **あ** **あ** 河内郡又氏 固多治比

續紀 **丹比** **あ** **あ**

武藏 **あ** 固多介布 但馬 **あ** 固多加布 **高生** ○評 云

權馬樂 **あ** 固多介布 但馬 **あ** 固多加布 **た**

信農 **あ** 固大伎倍佐渡 固多介倍又多加倍

高家 **た** **あ** 大和 **あ** 固 當岐麻固多

以 **當麻**

赤 **當麻**

たけまは たけの葉 又 醋

五言六言九言

あけのかは 竹の皮之和 箴

たまきはる 冠辨之固多麻

あまのれや 河内之固 玉

祖 あまもをほる

徘徊 た

かむふのうは 辨の皮之固

液 箴

知部 一言

知 智池 遲 馳 陳 椎

致 耻 撒 筍 清音 治 地

尼 旒 泥 溼 貳 臆 濁音

三言

ちれも 困知 乳母 ちけ

や 衣服之困 禪 ちかい

ちらふ 困知 誓

四言

ちりひぢ 困知利 塵土

ちひさし 古本催馬樂哥知比

ちかづく 佐古乃利利郡々

近 又物の名は在

五言六言七言

ちばやふる 冠辨之困知波

ちひさきもの 困知比佐岐毛

ちざりかう 困知

都部 一言

加守不利 〇 註 婦人長冠 〇 註 幘

つ都通追兔菟闘屠

清音 豆逗途圖徒清濁二音

頭濁音

二言

つは出雲風土記 都波草 石落

は宇与太利又 近波志前 唾

杖又丈惠宇 和月

三言

つはり宇發始飛之豆波利乃 澄枝和釋食 豆波利

膳つかい固都加比 使

つかへ肥都柯陪 仕

む和牛馬體 都無之 廻毛人旋毛

躑躅木之固槃を豆々自和 羊躑躅を以波豆々之 机案和都 久惠

つみ樂器之固都 豆美和和月 鼓

ぢひつやふ 固都度 比和月 集

ひふ固都昆 途和月 遂

續固八十連属を 野素豆々企 綴

つりる之上の後より出 たりさほも 綴

ゆ固瘡を 豆比由 費

つみ固豆多布和 固豆多比 傳

ついで續連之豆礼の物 田又支ト以ト通

次 ついき豊前郡之 固豆伊岐 筑

城 つがひ固合 固豆伊岐 番

四言

つはまの和都波 毛乃 兵

まづく固豆万 豆久 躑又蹴然

ついはむ和都以波無之 註鳥取食 啄

つまいり 牛病之困 豆万以利 蹄躡

ついがき つひち 困都以加岐 又豆以比知

築塙 ついたち 月立 朔

つらのえ 土の 戊 つかは

遣 國遣波志 國日 都加播佐礼 つよ

約 数の辞 約 つく

繕 つくのひ 困豆矩羅持 困厥島 乃布

償 ついたて 御立之 支を以通

五言六七八言

つぬさはふ 冠辞之 困莞格 瑤破起 困日

つじかせ 困豆半自 加是 困日 颯

つきどらひ 困豆支之良比 註獸角觸物

紙 つらどり 寫折 九折

つくりかは 困都久利加波 註獸皮去毛

革 つくのひび 手類之 困豆 久乃比ハ刀

客作兒 つぐみのいひ 草之困豆久美乃 伊比称又標増之

白英 つひ 官名之 困都波 毛乃乃都加佐

兵 ものつあさ

部省

天部 一言

て天豆低底庭帝諦

堤提弟 清音 代題 清濁 二音

田傳殿泥塗涅耐 濁音

二言三言五言

てふ 古何々やリふや云言やてふ 梵て何々ちふやも何々せ

てをの ふやも云て中せより 終してふせ云

鉞 工面具之 困 豆半乃 困日 てらふてらふす

やほまげ 和淮南子云越人樂遠射參天而發刀保

奈遠射 奈刀

奈註縹 舟索 纜 やのひ

やのひ 能倍 調 や

もまひ やもあふ 調 や

伴 やふらひ 調 や

訪 評云この言ハ甲あぞ

やこへ 圃等虚辞陪

長又鎮 長

燈火 豆於夜

五言六言七言

やほつれや 圃刀保

父 やらへびや

囚人 やほろ

大 やりのり

闘雞 やころづら

解蔓 やこ

長 やこ

滞 やほり

通熊 や

遠 や

鶴 や

鶺鴒 や

奈部一言

江 評云遠江哥等倍多保美ハ

やつぎ 鳥圃刀

奈部一言

里 鶺鴒

奈南難儼那娜乃

二言

奈へ科の初て生苗奈倍園奈

為園那地震又地動奈は

繩園儼奈ほ豊後郡直入

直奈ほ奈ほ奈保

猶奈ほ撫奈保

三言

奈むぢ名播中真辞之園大宛

汝字と借奈づき園奈豆

腦頭中體奈へぐ足病之

蹇奈困又奈まづ魚之園

鯰奈困久奈まづ塘類之奈

歷易奈まづ奈まづ茶類之字

齋園又奈まろ水草之

澤寫園奈はて園奈ハ

暇田間奈ほ衣服之園

襪乃古路毛又奈襪衫又直衣

奈がえ車具之園奈はり奈加衣

煩園奈ほり園

直入園奈には園

難波園奈らひ園

成相園

四言

奈はせみ虫之園奈波世美

蚱蟬虫之園奈奈はさば園奈波

鮪魚註大魚奈はろ園

名也註大魚

苗代 ありはひ

業 ちほらひ

直會 ちまど

愁 ちみずら

准 ちぶ

ふほざり

等閑

五言

素まえのき 水之翻奈 未衣乃支 荆

ふふたふ 名小負 八助

素いがる 無之 代之 蔑

爾部 一言

小爾你途二仁而耳

珥貳尼柔

二言

虹 小

庭場 比ハ

庭場 比ハ

庭場 比ハ

庭場 比ハ

庭場 比ハ

庭場 比ハ

庭場 比ハ

庭場 比ハ

庭場 比ハ

庭場 比ハ

庭場 比ハ

庭場 比ハ

庭場 比ハ

庭場 比ハ

にかは 和介加波○註
養牛皮作之 膠

小はそ 和介
草之圃途波
曾又仁比曾 甘

遂 庭火之圃
途波比 燎

ふはひ 和介保比又介
保布又介保蔽

理○餘光之轉して
後子声不も音おも云 小はあ

和介波可
厚陸日 俄 和介比た小字

上野郡之和介比多圃介
布太又陸奥郡和介比太 新田

小あひ 和介
荷之るひ
あふ辞之

荷擔

四言

にほやう 二言
小和 鷓鴣 小

はづ 虫之圃仁
波豆々 地膽 小

ふト 木之圃仁豆々之
又乎加豆々之 茵

芋 草之圃途
波久佐 地

膚 和介比
那圃 新

嘗 飲物之圃途
於毛比又豆

久利
義豆 漿 和介比
小ぎはひ
いぎはる

和介
支波々志 販 和介比
小ひば

常陸郡之圃途比婆
理圃圃珥比廢利 新

治 越中郡之圃
途布加波

新川

五言六言

小はつぢり 鳥之圃介波
都登理圃圃 雞

ふひまぐさ 草之圃仁比万久
佐又琳阿佐美

蘭茹 木之圃途

波佐久良
又波々加 朱櫻 木之圃途

づみ 和介波多豆美
和日○註雨水 潦 小

はくふふり 小鳥之圃介
波久奈布里 鵲

ぬ終

鷓

○奴部 一言

ぬ 奴怒努弩農濃

農濃二字古ハ奴の假字之和名鈔の以より乃の假字ニ用るハ誤

二言

ぬえぬえぬ 鳥之固奴延因奴要子鳥字和同

ぬひぬふ 字奴布和同

縫

三言四言

ぬきふは 水草之固奴那波和同 蓴

ぬかづく 頭もて地を突之和同即頭虫と奴加豆支

無之 額突 又叩頭

○祢部 一言

祢 禰年尼泥塗伎涅

三言

祢すみ 小獸之固祢須美古本僅馬樂哥同 鼠

祢らひ 同候之固祢良比 祢

ぢひ ねがふねぐる 固類幣流因祢可比 願 祢ぶ

るねじる ふやむ日 眠

五言七言

祢ぢりびや 擧之けハ辞小て加礼約 伎

入 祢次みもちのき 木之固祢

須養毛知乃支 梗

○乃部 一言

の 乃。迺。能。

三言

のつち 毒虫之固乃豆知 蝮 のら

え 野菴之固乃良衣 蘇 のまき

のほ

世乃和支乃加
世又ハ夜和
暴風
のご

ひのこふ
古比
團乃已不團手巾と太乃
常ふぬくや云

拭
のろひ
のろふ
のろひ
のろひ
のろひ
のろひ
のろひ

咒咀

四言

のたまひ
のたまひ
のたまひ
のたまひ
のたまひ
のたまひ
のたまひ

使下セ乃
太万不
宣
○評云古ハ貴
を當のりせ云

のい次み
○註脚脂間生肉如

刺由著靴小相
措而所生也
肉刺

五言

のむざぶえ
土布衣
无
吭

波部 一言

は波破敷半判絆伴
巴播幡幡薄八方
清音

伐婆
濁音婆を和の如く唱
るハ半濁又麻麼魔等
波の濁音小も用

二言

は
國波ハ
母
は
虫ハ
五

月蠅と九魔陪團
嫁と波へ國波用
鮫
はえ
魚

要
國波
生
はえ
草始生ハ
國波曳ハ
美

豆
國波
恥
は
伏て行ハ
國伊波比

伊ハ發語
又波布
匍匐
は
は

虫の行ハ
國波賦
武志國ハ
國波布
蚊行
は

草木のほふま
延

三言

はだへ
國波
太倍
膚
はがひ

は

羽交 羽の交り けり

針魚 魚之圍波利乎又与呂豆 け

初穂 新穂を神或ハ朝廷小奉 穂

は 評云稻の外の献物ともはつはせ云ハ給之 木

朱櫻 圍波ノ加又途波佐久良 けこそ

柞 圍波ノ曾圍日 けこ

鼠麴 天徳史録母子草 けこき

苜蓿 草之圍波々支 評云けき草ハ第一種

笄 放の名 圍波々 筥

伯耆 國之圍波々伎 け小

埴生 圍波途 けへき

榎 屋具之圍波閉岐又太流岐 け免

始 又初 けわる

断 爲齒傷能之 け

彈 久圍繪を以之波之岐 けらひ

被 圍波具を波羅閉都母能圍波良倍圍解奏を波良反祭 け

拂 飛圍波良比 けひ

羽咋 圍波 けふり

祝人 圍波 けひ

床 讀岐々々 けいた

はい 山城紀伊々々 拜志

四言

はくそ 今云はくろきり圍波々久曾圍日

黒子 圍波 けらあ

腸 圍波 けにわり

半月 陰十五日爲男十五日爲女 けら

匍匐 圍腹婆 けら

は

はきづら 牛馬を繋ぐ圍 牛

縻 蜘蛛恒捕蠅 縻 波奈豆良圍 牛

蠅虎 爲報者也 蠅虎 註此虫似

貝母 草之圍波 貝母 はまゆふ

蔓荊 草之圍波 蔓荊 はどかみ

蔓荊 草之圍波 蔓荊 はまはひ

蔓荊 草之圍波 蔓荊 はこかれ

蔓荊 草之圍波 蔓荊 はいずみ

蔓荊 草之圍波 蔓荊 はづか

蔓荊 草之圍波 蔓荊 はろふり

蔓荊 草之圍波 蔓荊 は

蔓荊 草之圍波 蔓荊 は

蔓荊 草之圍波 蔓荊 は

蔓荊 草之圍波 蔓荊 は

蔓荊 草之圍波 蔓荊 は

蔓荊 草之圍波 蔓荊 は

蔓荊 草之圍波 蔓荊 は

蔓荊 草之圍波 蔓荊 は

蔓荊 草之圍波 蔓荊 は

蔓荊 草之圍波 蔓荊 は

蔓荊 草之圍波 蔓荊 は

蔓荊 草之圍波 蔓荊 は

蔓荊 草之圍波 蔓荊 は

蔓荊 草之圍波 蔓荊 は

蔓荊 草之圍波 蔓荊 は

蔓荊 草之圍波 蔓荊 は

蔓荊 草之圍波 蔓荊 は

蔓荊 草之圍波 蔓荊 は

五言六七八言

はつきばし 圍ハハ 彗星

はたねり免 虫之圍波 促

織 僧坊具之圍 波用波良飛

白拂 波用波良飛 呂比註

鳥理 呂比註 波比未

杜仲 戰の 具之

大角 具之 波比未

菘 波比未 波比未

菘 波比未 波比未

菘 波比未 波比未

菘 波比未 波比未

菘 波比未 波比未

菘 波比未 波比未

菘 波比未 波比未

菘 波比未 波比未

菘 波比未 波比未

菘 波比未 波比未

菘 波比未 波比未

菘 波比未 波比未

菘 波比未 波比未

菘 波比未 波比未

菘 波比未 波比未

菘 波比未 波比未

菘 波比未 波比未

菘 波比未 波比未

菘 波比未 波比未

かたのねほぢ 團波々加太乃
於保地團

外祖父 はかたのはこ

外祖 はかたのはこ

母 於婆ハ慈母の畧よりて於の
假字之父母の兄弟と申治乎
婆也之ハ小父小母の義故小母の
假字之まやふまふふれ

比部 一言

比 妣 非 悲 斐 飛 必

秘 彼 被 肥 卑 婢 賓 嬪

辟 避 譬 臂 費 清音
濁音

備 鼻 眉 媚 寐 弭 濁音

二言

比知 臂 又 肘 比知 比知

比知 比知 比知 比知

比知 比知 比知 比知

比知 比知 比知 比知

比知 比知 比知 比知

比知 比知 比知 比知

比知 比知 比知 比知

比知 比知 比知 比知

比知 比知 比知 比知

比知 比知 比知 比知

比知 比知 比知 比知

比知 比知 比知 比知

比知 比知 比知 比知

比知 比知 比知 比知

比知 比知 比知 比知

比知 比知 比知 比知

比知 比知 比知 比知

比知 比知 比知 比知

ひつ 獸之困 比豆之 羊 ひつ

ぢ 困比豆知又於呂加 於比註自生稻之 糴 ひ

いづ 糴出の結之困秀也 保之のみもよそり 秀 ひ

ひこえ 困木細枝 比古延 抄 ひ

ほ 困比之保困鹽 醬 ひは

だ 檜皮之肉はたすきを 皮為酢すや書り ひ

だを 陀毘 頓丘 ひやへ

ろ 一重之單内困比刀閉 岐奴の註衣無裏日單 ひき

ろひ ひろふひろん 續後紀拾布 古本催馬樂 ひ

ひのえ 火の 丙

ひむが 國之困辟武伽和比 宇賀とつる八平言之 日

向 四言

ひえぢり 常よまひよき 困比衣土里 鴨

ひとむい 困比乎無之註 朝生暮死虫之

ひたきき 伊勢物語引 麦おろし引小

ひらぎ 鹿尾菜 ひこ

ばえ 厚黄と比古波由困比古 波衣の註斬而復生之

ひらぎ 木之困比 羅木之ハ尋

むらぎ 又巴戟 天竺困

ひさかひ 困比岐於比 註小帶之 衿

帯 ひちりこ 困比知 利古又

泥 ひぢまき

困比知万岐の在臂上者〇もやハ 久志呂 久志呂 久志呂

ひやへ小 一重 小日

ひやへ小 固ハ盃拵酒又 八塩折之細困

偏 ひやへ小

吳藍之八塩乃棍 以八塩抄ハ也
志伊伊判の伊を平小通しと云之
今一入を書ハ
畧ふと云

五言六言七言

ひつゞくさ 草之困比
豆之久佐 白

鮮 ひやだまひ 困比刀太
万比又曾

副車 ひやひ
困久流方
註後乗く

欠ぐり 困比刀比
米久利 太白神

ひざのかはら 困比佐乃加波
良註膝骨之

膝胛 ひるむやまひ 困比
前無

夜未比〇註 痿痺 ひしこ
不能行也

いまー 小魚之困比志古鱈
困比師古以和之

鯉魚 ひかけかつり 祭具
之困

比加介 羅鬘 〇評云ひかけの
加都良 づらハ古字也
日本紀云羅もて手綱やひや
らり万葉云すの玉陰又山くふ

和名抄云羅比加介又松蘿万豆乃
古介又佐流乎加世やらりその外
よを枝多し後世地
をほふ苔や云ハ誤
ひきのひた

ひぐさ 草之困比支乃比太比
久佐又羨娘乃弥次姫

細辛

不部 一言

ふ 不否布副扶負敷

浮甫輔賦府俯符赴

清音 夫父矛步霧驚

部 濁音 蜂音 二字一言
困失

二言

ふら 困布遲葛
困困布治 藤 ふト 困
河

郡又山名 富士 ふえ 困府
之困浮志 曳困

月 笛

三言

諂又諛 又諛

保部 一言

保 褒本寶富朋費

報譜哀清音 菩固清音

凡煩乏濁音

二言三言

ほ困保人〇註 面旁目下也 頰 ほえ

るほ獸声之聲 困保由 嗥又吼 吠

ほづえ固本都延 困保 未枝

ほ困保 乾飯之困加和伊比又 保志比困保之以比

精又餒 ほ困保 乾肉之困 保之

脯 ほ困保 の火旁又火 困保伊多 熾北

四言

ほ草之困保 小豆成 酸漿

ほ蔓草之困 保土豆良 百部

ほ乾魚之困 保之以乎 脯 ほ

ほほの 條之在 ほほの す

け困保乃乎又保人 須介又於似加計 綉又老 繫

五言十一言

ほ木之困保室我 之婆困保 保

厚朴 ほ官名之困保字之万 良比刀乃豆加佐 ろらひせ

のの 玄蕃寮

末部 一言

ま萬日 困保 末万 滿馬 麻磨

摩磨 磨磨 魔磨 茶

二言

まい 馬牛く 鳥牛 まい

百麻肥 幣 中ひまゝる 比面

舞 まく 匡麻幣 前

まづ 続紀先豆先豆 三代実録

三言

まよわ 貝之和 万与和 石炎螺

吉本神樂哥 万刀為 圓居 まゐる

まろくればまろくろ 又麻爲之 瓜足石哥 麻鳩

まろくんでろ 又麻爲之 瓜足石哥 麻鳩 参

まゐるのまゐるハ条之るハ 入の畧られ又らんハ条之

まゐる 交 旨

まゐる 交 旨

まゐる 交 旨

まゐる 交 旨

まゐる 交 旨

まゐる 交 旨

まゐる 交 旨

まゐる 交 旨

まゐる 交 旨

まゐる 交 旨

まゐる 交 旨

まゐる 交 旨

まゐる 交 旨

まゐる 交 旨

まゐる 交 旨

まゐる 交 旨

まゐる 交 旨

まゐる 交 旨

馬牛く

百麻肥

舞

まづ

三言

まよわ

吉本神樂哥

まろくればまろくろ

まろくんでろ

まゐるのまゐるハ条之るハ

まゐる

まゐる

まゐる

まゐる

まゐる

まゐる

まゐる

まゐる

まゐる

まゐる

まゐる

まゐる

まゐる

まゐる

まゐる

まゐる

まゐる

まゐる

まい

比面

匡麻幣

三代実録

石炎螺

圓居

固麻章及礼

日固麻鳩許

又麻爲之 瓜足石哥 麻鳩

又麻爲之 瓜足石哥 麻鳩

交

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

客 之灰比カ
乃豆加
眼氣之困
古為ヤアハ遠ヘリ 客 之灰比カ
乃豆加
眼氣之困
古為ヤアハ遠ヘリ

眊 至万奈志利困
口註眼尾之
古為ヤアハ遠ヘリ 眊 至万奈志利困
口註眼尾之
古為ヤアハ遠ヘリ

皀 至万志呂久又目犬
以註目數動貞 皀 至万志呂久又目犬
以註目數動貞

皀 至万由須美
註画眉墨 皀 至万由須美
註画眉墨

皀 和未和
註壁 皀 和未和
註壁

皀 中之横
帶之 皀 中之横
帶之

皀 具未
奈以木 皀 具未
奈以木

青 利
國盛物の意上の
まのころの特 青 利
國盛物の意上の
まのころの特

皀 固帯を麻比
中まのころハ辞 皀 固帯を麻比
中まのころハ辞

皀 固不順人を
海都漏被奴 皀 固不順人を
海都漏被奴

皀 符困麻都呂倍
符困麻都呂倍 皀 符困麻都呂倍
符困麻都呂倍

皀 ハるすへる
三言ま
るに出 皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出 皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出 皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出 皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出 皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出 皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出 皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出 皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出 皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出 皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出 皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出 皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出 皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出 皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出 皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出 皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出 皀 ハるすへる
三言ま
るに出

客 之灰比カ
乃豆加
眼氣之困
古為ヤアハ遠ヘリ

眊 至万奈志利困
口註眼尾之
古為ヤアハ遠ヘリ

皀 至万志呂久又目犬
以註目數動貞

皀 至万由須美
註画眉墨

皀 和未和
註壁

皀 中之横
帶之

皀 具未
奈以木

青 利
國盛物の意上の
まのころの特

皀 固帯を麻比
中まのころハ辞

皀 固不順人を
海都漏被奴

皀 符困麻都呂倍
符困麻都呂倍

皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出

皀 ハるすへる
三言ま
るに出

客

眊

皀

皀

皀

皀

皀

青

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

客

眊

皀

皀

皀

皀

皀

青

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

客

眊

皀

皀

皀

皀

皀

青

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

客

眊

皀

皀

皀

皀

皀

青

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

客

眊

皀

皀

皀

皀

皀

青

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

客

眊

皀

皀

皀

皀

皀

青

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

客

眊

皀

皀

皀

皀

皀

青

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

客

眊

皀

皀

皀

皀

皀

青

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

客

眊

皀

皀

皀

皀

皀

青

皀

皀

皀

皀

皀

皀

皀

かひひくふ 固車加
迎むく

いむいむ 固車久伊今むく
報ひむく

四言五言

むかい正妻 固車加比
米又毛切豆米

嫡びざね 麥撃木
固車岐於

紀須 杆麵杖

免部 一言

免免 米賣馬每梅味

迷謎面咩綿瑤

二言

失兄弟之妙 姪又娣

三言

失固米 比固米 盲又瞽

失固梅 感又愛

四言

失固米 阿妻評云

失乃於刀又米 乳母

失乃切又知於毛 荒蔚

失乃切又知於毛 挂免

免木之固米 加豆良

免固梅豆邊志 希見

以死上の免つるを日底を之 固
希見やまゝハその感をもつ
てまねるるも其の故之今も
別々奉るハ後二考のみ

毛部 一言

毛母門問聞悶文

目物勿茂忘蒙謀望

暮慕慕摸謨木莽牟

儻牛鳴二字一言

二言

もず 小鳥之圍 鴟 厚鵪 毛

ひ 瓦器之圍 施摩暮 比羽未里又毛比 盃

毛ひ 古本雀馬 鐵器 義毛比 圍主 水司と毛比 刀里乃豆加佐

○是も上の毛ひや 皆水と盛器をもて云 毛ひ

遅 銕 毛ひ 草水芽生 之 繞組毛

延 萌 又毛伊 火氣之 固毛由

流 燃 毛延久比

三言

もみぢ 固毛義 知 圍 黄葉 又赤 葉

○評云とみぢ器もせとみぢはふて 去積み出る葉て人多く後唐 詩みぢふりて紅 葉や出も煮 日 毛づ

豆 水雲 固毛豆 圍 固毛 知此

餅 固毛豆 圍 固毛 知此

用も 以假字見えび云 固毛豆 圍 固毛 知此

多ひ 互器之圍 固母太比 甕 燈

お 本居 基 色らひ 固母太比

固 晴 固 毛えき

色もえハ 萌黄 葱

四言

毛ひ 固毛刀由比 註以組束髪

鬢 毛えくひ 固毛延久比 註火餘木

燼 毛やほり 鷹鳥之圍 毛度保利

旋子 毛やほり 毛やほり

古母登本 斯 固 茂 皆 陪 之 之 續 純 通 保 理 固 固 固 固

もよほり 春虫の 固 固 固 固

催 毛むのふ 陸奥部之 固 毛卒乃不

桃生 毛やろろ 備前之 固 固 固 固

刀呂 物理

五言八言

ものぐるひ

病名之利毛乃久流比又太布流

癩狂

もぬけがは

字毛 奴介

加波

もづたふ

冠辞之固 毛々豆多

布紐 百傳

もひやりの

つうさ

官名之相毛比 刀里乃豆加佐

主水

司

也部

一言

野

也。夜。耶。椰。娜。耶。揚。

二言

やへ

固夜弊 細五日

八重 又弥重 の畧

は

固夜 本

八百 又弥百 の畧

三言

やむを

無妻之利 夜無中

鰥夫

やむえ

無夫之利 夜無米

寡婦

やまひ

利夜 万比

病 やいば

や

焼月之幾セ 以不通ハハ

又 ははげ

波須

箭度慈 忍

筈 やらり

莖也

○註箭 鏃

やらひ 志利 神

夜良比余夜良比賜

逐之

逐

訓夜羅賦 今本夜と波不誤

又 難

やどら 或ハ和字當ハハ 或ハハハハハハハ

へり和ハ也波弱ハ与倭

耶ハ与乎ハ倭不通

弱

やうひ

草木弥 生ウ畧

三月 や

ぎふ

大知ニク 雨也支布

楊生

四言

や

やうはご

曾孫之子
困夜之波古

玄

孫 やいづこ

野野
徒姑

奴

やまゑみ

草之
困夜於保惠義又夜

末惠 黄精

やまたづ

困夜
麻多

豆○註是今造米者也
困鑄を多
都岐○註廣刃斧也云云
日物也

やまぐひ

盛矢器之
困也
奈久比

籠

困

やいぐ

炎火具之
困
夜以久之

弗練

やうまひ
やうまひ

困
細柳始難破
勢
困也志奈不

養

やはらぐ

困
之困

和

やうく

本耶人之其耶を延て耶字
と云吉本神樂哥也字也
漸

やいばた

火田之
困也以八太
○今知字ハ火田ニ

を合
す
山直

やまたへ

和泉
困也未

倍多
津國
困也奈

やまふいづ

津國
困也奈

豆以
楊津

五言六言

やはらぐさ

草之
困夜
波良久佐

黄

者

やまがき

草之
困也
未不支

欸冬

やまいばこ

調度
津割

楊津也也奈以豆也云如く
也奈岐の岐を以に通
楊

管

やうかのひ

八許の目之
也を延也

字ヤ

八日

評云古今集の詞一
かぬりの日やうの

日中取りまゝの神をつむるあひ
よていくちやのひかむ日
あやまうし
やまのかひ
山間
困

山乃
加比

やまのかけち

困夜
赤乃

加介知○註
山路困道也

碓道

やまび

らぎ

草之
困夜
比ハ良支

巴戟天

やのへのけ

屋上苔之
困夜
乃倍乃古介

少

屋遊

○由部 一言

由遊 遊史 史愈 愈諭

諭 瑜

二言

湯坐 湯坐 湯坐

故 故 故

夕 夕 夕

結 結 結

夕 夕 夕

夕 夕 夕

三言

夕 夕 夕

夕 夕 夕

弓ホ一 弓波 受由 養波 數 彈 夕 づる

仏足石 哥由 豆利 讓 夕 づる

下總郡 結城 夕 づる

備前 朝負 夕 づる

四言 夕 づる 夕 づる 夕 づる

白星 夕 づる 夕 づる 夕 づる

利 晡 夕 づる 夕 づる 夕 づる

加部 夕 顔 夕 づる 夕 づる 夕 づる

豆流 交讓木 夕 づる 夕 づる 夕 づる

和由乃阿和俗云由 硫黃 夕 づる

王註杖石液 射 夕 づる

みいる 射 夕 づる

都流 弦 夕 づる

和由兼都加 附 夕 づる

困延布利○註
杷之無齒者也
柘
えつり

産具之國京
都利國
蘆藿
え

やみ
困衣夜養又和良夜養
○註二日一發之病

瘡
えやみ
困衣夜養又登
岐乃介○註民

皆病○ひえやみのえは瘡
の字音多ふけんがとく
疫

○評云えやみのえは疫の字音
ありけんやとく

えらひ
えらひ
源順云一甲子といひ、一きの
えらひ小入てと續入る

撰
又困禪とも訓○平言よりと
いへり是かのつと延点可音よりと

えく
伊勢
えく

兄國
えく

一四言
えん
困衣
米虫
蝨
えん

寸絲
草之困阿夜米於
無又衣比須裕
地榆

えひ
海菜之困比呂
米又衣比須米
曰比

布
えらばら
困衣智涉
註小兒腹痛

痞
えらばら

五言
えやみくさ
草之困衣夜美
久依又途如奈

龍膽
えひかつら
蔓草

えひ
紫島と衣比加豆良蒲
菊を衣比加豆良乃美

えひ
草之困衣比
須袖又山佐

芍藥
又困
杖と

○與部 二言
困衣比須久須
里又奴養久須里
衣比須久佐
困决明日訓

與
豫預
餘
余日

用容欲譽庸遙

二言

二言

二言

二言

二言

よひ 國豫管 初夜 未だの秋

よは 夜乃之波ハ未以通物ヲ登

假字 夜 くらふ

治等 攀 援張之

三言 齢 よは

よはい 寛宴哥 与波比

ひ 固用 結婚 よほろ

近江口下野と 團時射乃云 下 よろふ

備足之 團 ころひ ころふ

上之月 團 与路比 鎧 甲 よろづ

呂豆 團 足石哥 万 萬 万 万 万 万

よそへる 同与曾也 儀 よそひ

折ハ遠 部ニ在 節折 事ハ次江次 弟ホ又出

よわ 固目弱王を固眉翰王 也乃り翰ハ倭之固原

を於毛与和 志 面弱 弱 柔 よそち

みそちの 條ニ出 四十 よみち

黄泉道 の畧

四言 四言 儀 糺 月 よろほひ

團与曾 保比 儀 糺 月 よろほひ

よらほへる 古本催馬樂哥 与呂保比 凌逸

五言 五言 流星

よばひほし 團与八 比保之 流星

よろひぐさ 草之團与呂比久 佐又伽佐毛知

白芷 よちとごし 和抄 佐之

又与知乎佐之 註以竹貫魚之 鮫 よみが

へる 空与弥還 註更生 鮭 よし

あや 固縦哉と訓又縦惠夜 思又吉咲ハ師〇あや

らり 〇るれろ

良不 笑 咲 嗤

四言

わたづみ

海神之後、海の志
名を有る、和と多都

美和

○評云、こづみわたを
ナミツを濁るべし

らへべ

和と良波倍
註童男女

子

あらふた

和と良布太
註草禪

圓座

こづらひ

和と良
註草禪

比 豆良 煩

わきまへ

和と良
久又呼乃

必 惜

わきまへ

和と良
倍

通 不 辨

わきまへ

三代実録
定比

禍

あざをぎ

和と良
笑を阿奈和

加せせいの、和と良、優とをぎや
訓古本神樂、加良、支支、河を
合せて、假字も
あも知る

常と世、海とと、
とあり、良比の納刺
活題

らひ

伊勢郡、和
和多良比

度會

五言

わらはやみ

和と良、波夜、養又
灰夜、養、註二日

病也

瘡

評云、えやみの
り、ハ上、ま

爲部 一言

爲

委、委、位、威、葦、偉

渭

謂、音、井、居、座、處、猪

彘、豕、亥、蘭、率、訓

蝙、蝮

二字、一言、和爲、註
其貌似、蜥而大者也

二言

わ

和爲、流、註、船
著、沙、不行也

般

い

遠江、川、
和爲、以

渭伊

三言

わのこ

和爲、能古

豕

わもり

る

和爲、能古

ねや 固於夜 親 固於暮

母 固於 面 固於

ぢ 固於地 祖父 評云父の兄弟 ねば 固於

とをちてハヤエハハ小父小母みて假字子之

固於波。祖母 固於

礼固日○人を懐きて云云之後世みづくも云又人と姉をてと云の九

ハれのれのまろ 固於

日○臣下之 固於

使主 固於 ね 固於

ふや出ハ誤又固意奈○児の人やちるどもおふつけと云 老附く

老 固於 ね 固於 鬼 又固 鼠 固於

古書よおにや 固於 鼠 固於

八固志こやそ 固於 鼠 固於

のぞ二洲のみ 固於 鼠 固於

ね 固於 鼠 固於

郡の 固於 鼠 固於

推 固於 鼠 固於

海川よ云固 固於 鼠 固於

於伎固 固於 鼠 固於

き 又いき 息 固於

隠岐 固於 鼠 固於

奥 固於 鼠 固於

ね 固於 鼠 固於

き 除置 置 固於

固於斐 固於 生 固於

日又於布 固於 負 固於

波牟又不負と波波 固於 負 固於

固於比又於布 固於 追 固於

大 固於 音 固於

ね 固於 音 固於

山城郡乙訓固於切久途 固於

○評云女と後世乙女と
去ハ誤之遠の假字也

る
固於須波多 呂須約流
固倭文と之頭於利也訓又於

織
れちあつ
固於知豆
又於都流

落又墮
おちあつ
豆 固於

怕
おそ
固於普乃凡流士又
於普也此君又心鈍

痴鈍
○評云下のおそを
擬せするハ假也假

富
おう
出雲郡
固於宇 意宇

三言

れかみ
凡雨と謂る竹之
固於加美固固固 龍

おほぢ
父の父
祖於保知 祖父

れきこふ
爾後紀於伎
奈固固固 翁

おふふ
老女之 固意奈斯ハ老
しとふ云ふハ老
女ハふふ云ふハ一固婦と
於無奈 無ハ與の誤云

おのれ
おの 固飲固鐵固固
固於能礼固固 已

系
大人の畧
あふん おもて
於固

謀提固固
又於毛 面
表 おふび

手足の指之固由比又於与比
を於保放与比 食指を比切之
乃指 中指を奈加乃於与比 無
名指と奈々之乃指 季指と古於

与
指
れふび
及之舌伊勢
物體及手を

上の揮
おふ
固於不志
固固固註

不説
瘖啞
おや
後又大
後と称

云ハ大殿の畧
れり
官名
固於

里
織部
おほわ
官名
固於保為

大炊
れかろ
草之固於保
高註可為

庶者
莞
おはき
固宇波疑
又梵牙子

丙膳武高月○字ハ舟と結す
例ニ固英萬於ハ木ハ誤 ○評云

れ

れ

れ

れ

守を平に持たし例うべきを
をさきうけをさく以外多
七十三

ほし 車之類
於保之 大黃 おほ

糸 大根之固洪
富泥固固日 蘿苗 又菜蕪
蘿蕪

蘆蕪 ねほひ
野菜之類
於保比 苜

菘 おくて
縮の遅く熱之
固於久天

晚縮 ねぢろ
固於布流吉本
度呂 棘固

おふる 固於布流吉本
催馬樂平日 生 ね

きびきき 古今物名ねき
固於支比固日 熾

ねにび 鬼火之固於逆比
及牛馬虫死者血所化也
おほを 鷹

燐 評云おほの
る二言云 ねほか
固於保 加又必

具之固 係 ねほか
於保乎 固於保 加又必

流註 綉車 おほま
於取也 固於保 於固

保和註車 綉車 おほま
輪郭曲木也 固於保 於固

衡波加利 重 おほみ
乃於毛之 固於保 於固

いひ大所 多 ねほ
固於朋跡私足石哥日 固於保 於固

きとほし 固於母比又意
保伎 多 おほひ

ねほみ 固於母比又意
おほる 固於保 於固

ぼひ おほふたほり
おほり 固於保 於固

利於保不和車具格
挺と久飛於保比 覆 おほ

一 固於呂之類固靴
と久飛於保比 卸 お

よそ おほよその畧あり
おほ大を凡てかふ一刊 固於保 於固

凡 おゆる 固於保 於固

劣 ねそ 固於保 於固

宇 遅 おふじおやト
馬 固於保 於固

又於 同 おくりおくる
夜自 固於保 於固

久理 贈 ねくるおくれ
固於保 於固

久礼 後 ねこしおこし
固於保 於固

起 又興 ねこせ
固於保 於固

ね 固於保 於固

勢多流○俗
よこはら
遣
おさへ
佐倍

押
おそる
厚於
曾苗
恐
又懼

おびゆ
おびえ
字於
比由
愕然

おぼる
轉り
出らるる
遠
江人
是やおぼるる云

溺
おぼり
大ぼり
奢

おふり
和於
布須
雜藝部
出
柏浮

おらび
和於
良妣
叫
お

よき
字於
与支
○註
水中
と行
泳
お

ろか
和於
呂可
愚
おぼえ
も

ほゆ
り出
覺
おふせ
續紀
於
不世
因

命
おきて
權定
お
掟

おたぎ
山城郡
愛宕

おふち
讚岐郡
大内

○評云大内ハ保字の約布るれハ
おふちと云 大市ハ保以の約

比多るを布と持
おふちと云

和於
布知
大市
おふみ
因幡
郡又

石見
和於
布美
邑養
おほく

備前郡
和於
保久
邑久
おほち

石見郡
又能登
和於
保知
邑知
おご

大和
和於
固
意佐
加阿
忍坂
お

駿河
和於
支都
息津

四言

おほぞら
和於
保
曾良
太虚

おほみま
國於
保
差麻
御體

おほきみ
固意
富岐
美紀
大君

おほれば
祖父
の母
和於
保於
波
曾

祖母
おほをぢ
祖父
の
兄弟

翻於保 乎知 從祖父 ねと

ら 父の弟之圍兼乎地 弟ハ於切之父の兄ハ圍延乎地

阿叔 おやうと ねと

男子の後ニ生ケル圍於刀字力 竟宴哥於登 弟 お

ほよ免 長子の妻ニ 翻於保与米 奴婦

ねとよ免 次子の妻ニ 翻於刀与米 姉

婦 およづけ 老附ニ委れ いの條ニ出

ねとがひ 圍於刀加 比圍同 領 お

もかけ 圍於毛 可宜 面影 おも

むく 面同 赴 おむか

面同ハ一キあり 竟宴哥於年迦斯 圍偉慶と於毛 哉志と訓し同○同

註悦ニ 奇ニ おもゆる 顔面をも訓ハ於の假字

疑ニ 阿容 ねとせり 於

保刀 利 鶴 ねとがみ 獸ニ圍於保加美

狼 おほくか 翻於保之加 ○註似鹿而

也 大者 麋 おほづ免 翻於保豆 ○註蟹

也 大脚 螯 ねとむし 翻於米 出圍同

蚱 翻慶 ねとだら 本ニ翻 於保太

良 食菜萁 おほえみ

草ニ翻於保惠券 狸老みのホ子委 黄精 ね

ほばこ 草ニ至於保 波古同 車前

ねとせち 草ニ圍於保刀 知翻於保都知 茶

おしくさ 草ニ圍於之久佐 玄参

ねとびる 草ニ圍於保 比前同 大

蒜 おほみら 草ニ翻於保 養良

薤 おもだあ 水草ニ翻 冊 比面高の玄

ふいへり 澤瀉 ねとせり

翻奈ホ為 草ニ 日本備馬樂寺於 保世利 翻當歸をも訓 大芹

おごり海草 於期菜和

おほが祢和 洪鐘加祢

おくつき和 墓因於久都奇

ほぎ和 擲葬具之困於保土古註周棺者也

おぼし和 檻厚於波志

ほつほ和 虎子尿の器之困於保都保

おもづら和 鞆頭馬具之困於毛都良

おほゆみ和 弩戰具之困於保由秀

びやう和 鞞和 鞞和

おびかは和 鞞和 鞞和

びもの和 鞞和 鞞和

おほみ和 鞞和 鞞和

おほい和 鞞和 鞞和

おほい和 鞞和 鞞和

おほい和 鞞和 鞞和

おほい和 鞞和 鞞和

おほい和 鞞和 鞞和

おほい和 鞞和 鞞和

おほい和 鞞和 鞞和

おほい和 鞞和 鞞和

おほい和 鞞和 鞞和

おほい和 鞞和 鞞和

おほい和 鞞和 鞞和

おほい和 鞞和 鞞和

おほい和 鞞和 鞞和

おほい和 鞞和 鞞和

おほい和 鞞和 鞞和

おほい和 鞞和 鞞和

おほい和 鞞和 鞞和

おぎのり 園於支乃利 賒 たろ

そか 園於呂曾加 踈 れせろふ

れせろふ 劣ト 衰 れそける

波苗 園於曾 魘 おいてる 難波

はん冠絆之固於志豆流 園 たーぬみ

大和郡 忍海 おばら

上野郡 邑樂 た

出羽郡 置賜 お

若狹郡 大版

豊後郡 大分

伊勢又遠江 刑

攝津 部 おさ

土佐 忍壁 おほさひ

園於保 大忍

五言至十四言

おほきさ 園於保 冥渤

おほだから 園於保

人民 おほくぢ

曾祖 おほかふち

おのづから 自 おれび

おぼれ 園於保 賺

おほれ 大指 榎

おほれ 園於須 護田

鳥 おほれ

蝗 おほれ

駕馬 おほれ

追難 評云おほれ

おほれ

おなづれる 万葉集於延於保登礼流屎葛云云

おきまぐさ 草一團於支奈久佐又奈加久佐

白頭公 公ハ翁ヲ おほくそ

五 草一團於保八曾美 虎掌 ねろ

かおひ 自生稻一團於路加於比又叱豆知 糴

おほうばら 草一團於保守波良又佐流刀里

菘葉 おこし 古米〇註以蜜和米煎作之 糶 ね

まづき 團於之万部岐 几 ねも

ろ 團於母之樓 面白 何怜

おもよあ 面柔一團於毛与和志 膝

おもほてる 團怱然作色訓團於毛保豆苗

喟然 ねふ 丹後ハ ね

凡海 布之安万 おほやま

大和 團於保夜万刀 おのころま

礮馭盧鳴 固於能基呂島 お

息 近江ニ在團於吉奈我ノ波

長河 ねほ 固凡河内團大河内〇先ハミカサレバ其ニねほかふちをよむべ ねほ

凡河内 又續紀大押氏と凡の一字ニせしめ阿り今おほくそ唱るハ是よりゆりおほて上のねほかふち

ねもはくそ 面黒子一團於毛波々久曾

凡河内 螻蛄の子

ね 地不又利團於保知加不又里 蝶蛸 ねむ

ね 草一團於無奈加豆良 芎

ね 〇評云おむさうつ、於の候字あれハ女蔓又ハ何して

ね 姫蔓のよしな久くねむるの候のるハねよあのおよ云

ね 草一團於亦乃也加良團何又

ね 也加良團何又

ね

波 續斷 美 おほみるくさ

草之困於保 美流久佐 茸唐子 比 おむ

ものいる 困於無毛 乃以流 馳射

おほつかあき 困於保 東無 鬱

梶 比加 おほまのほかい 國於保 登能保

大殿祭 比加 おほおほちむ

ち 曾祖父之兄弟之困 於保於保知乎知 族父

おもや 官名 困 おもや

侍從 於毛刀比刀 乃知岐美 おもや

びや 困於毛刀 比刀米宇知 侍從

侍從局 美 おほみこや

もちのつらさ 困於保美吉 刀毛知乃司

大宰府 困於保岐 おほきむだちの

つらさ 無太知乃司 正親司

おほまのつらさ 困於保為 乃豆加佐

大炊寮 困於保刀 利乃豆加佐 おほまのつらさ

つらさ 困於保刀 利乃豆加佐 大舎人

寮 困於保加之 波天乃豆加佐 おほまのつらさ

大膳職 困於保久良 良乃都加佐 お

おほまのつらさ 困於保伊万 豆利古刀乃確 大

大藏省 困於保伊万 豆利古刀乃確 おほまのつらさ

おほまのつらさ 職名之困於保 伊於保刀毛比 大辨

政官 中弁を 奈加乃 おほまのつらさ

おほまのつらさ 小弁を 須奈伊 大

おほまのつらさ 困於保万豆 利古刀比刀 參議

おほまのつらさ 困於保伊毛乃 万宇須豆加佐 大納言

おほまのつらさ

中納言と奈加乃云く
少納言を須奈伊云く
ねほいま

うちぎみ
同 園於保伊
万宇智岐美
大臣

ねほまつりごせのねほま

つぎみ
同 園於保万豆利古
刀乃於保万豆岐美

大政大臣

的知の時見給事乃八月二

あつた強ぬ

下つ惣の園ふる

楫取魚彦

子賢の生娘をくはの

涉いさまみかろくつ

古乃已登和邪尔神

乃保具良毛梯立能

万々尔騰云里高支

代乃心言乎之良未

久寸流尔毛波之太

天尔那謀與留邊幾

曾盤也我天高支代

乃假字曾梯奈留此

盤之私尔造良未久

寸留人有何俗毛太

可紀尔與羅受底高

幾尔昇良布與之阿

良舞闘鷄可高久走

鞍作可思兼為寧部

可墨繩能萬々遲々

為尔乞石上乃神秀

庫尔毛登天免是乎

以多都伎奈世之波

揖取魚彦奈里勤可

暮之可目賀茂真淵

云
八利具
古入百登時

古言梯 增補標註 一冊

掌中古言梯 一冊

古言梯 餘蒙 近刻

掌中冠辭例 一冊

和歌吳竹集 二冊

和歌枕詞補注 二冊

古今かか

天保五年甲午十二月

今津屋辰三郎

加賀屋善藏

河内屋吉兵衛

河内屋源七郎

浪華書林

